

中央社保協全国代表者会議が開かれる**「守ろう！社会保障！全国アクション」が提起されました**

2月5日、中央社保協の全国代表者会議が東京で開かれました。

運動方針として、「守ろう！社会保障！全国アクション」が提起されました。全世代型社会保障制度改革が社会保障制度の総崩壊をもたらすという共通認識を広げ、総行動を繰り広げるといふ趣旨です。中央では、4月13日に国会を包囲するヒューマンチェーン行動（5千人規模）が計画されています。地域では、集会、学習会、宣伝行動を積み上げます。

全世代型社会保障制度改革をすすめる「検討会議」は年末に中間報告をとりまとめました。この中で、75歳以上の医療費窓口負担の引き上げや、医療費定額負担の導入などが検討課題に挙げられています。

「検討会議」は6月をメドに最終とりまとめを行い、「2020 骨太方針」に反映することをねらっています。

**◆愛知生活保護裁判が結審 2.23 全国大決起集会**

愛知生活保護裁判が1月27日に結審し、6月25日に判決が決まりました。全国で①番目の判決が今後の行方を左右します。2月23日に名古屋市内で全国大決起集会が開かれます。各地からバスを仕立てて参加する予定です。

◆あずみの里裁判 新たな証拠調べ、証人採用を却下、審理打ち切り

特別養護老人ホームあずみの里「業務上過失致死事件」の控訴審が1月30日に開かれました。弁護団が新たな証拠調べや証人採用を求めたのに対して裁判長は却下し、審理を打ち切りました。介護の未来がかかった裁判。署名を広げましょう。

◆25 議会中 24 議会で意見書採択 病院再編反対 ～秋田県

秋田県では公立・公的 23 病院中 5 つが名指しされた。「地域事情を考慮しない一律基準に基づく再編・統合の中止を求める意見書」の陳情を全市町村に提出、議会を訪ねて直接懇談。24 議会で意見書が採択されました。権知事は「地域創生に逆行する」と声明。県医師会も声明。

★社会保障拡充を求める署名活動**税金の使い方や減らされ続ける年金に対し、怒りの声多数**

1月24日（金）、JR和歌山駅前では社会保障拡充を求める署名活動に取り組みました。この宣伝活動では、「消費税の増税をするなら、税金の使い方をしっかり考えて欲しい」「年金をじわじわと減らされ、その分偉いさんにお金が回っている事に本当に腹が立つ」と怒りの声が多く挙がりました。海南から通りかかった女性は、「現在 65 歳でもうすぐ施設に入所してのんびりと生活できると思っていたが、今は施設に入らせてもらえず、無理やり自宅での生活を押し付けられている。身体がそんなに元気でないし、独り暮らしなので生活できるか心配。」と、署名に協力してくれました。この日は 6 人が参加して、署名は 5 筆でした。